



実りの秋（教育活動の充実）

朝夕の空気に少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。

学校での生徒たちは真剣に授業に取り組んだり、合唱練習に励んだり充実した学校生活を送っています。

さて本日は、前期の通知表を配付いたします。これまで担任を中心に、日頃の学習や生活の様子を振り返りながら準備を進めてまいりました。通知表には、授業の取り組みや学校生活の様子、各教科の学習に関する評価が記されています。お子様の努力の成果を一つひとつ丁寧にご覧いただき、前期のふり返りと、後期に向けた新たな目標づくりに役立てていただければと思います。

後期には、合唱コンクールやマラソン大会など、さまざまな行事が予定されています。こうした活動を通して、子どもたちは協力する力や達成感を味わい、さらに大きく成長していくことでしょう。保護者の皆様にも、ぜひ生徒たちの姿をご覧いただければと思います。

後期も、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

授業づくりに向けた学校訪問

10月2日（木）、鹿児島国際大学の内山先生を講師にお招きし、授業参観と授業づくりに関するご助言をいただきました。

授業参観では、どの学級でも生徒たちが真剣に授業に取り組む姿に感心されていました。特に、生徒一人ひとりの意欲的な姿勢が印象的だったとのこと。

また授業づくりについては、落ち着いた雰囲気 of 授業や、班活動での協働的な学びの工夫などについて助言をいただきました。いただいたご助言を整理し、今後の授業づくりに活かしていきます。（写真参照）

全国学力学習状況調査結果

今年度4月に中学3年生が受けた全国学力学習状況調査（国語、数学、理科）の結果をお知らせします。正答率や正答数を見ると全体的に良好な結果でした。教科ごとに結果を分析し、今後の授業づくりに活かしていきたいと思えます。

国語：正答率は、熊本県、全国を上回る。

数学：正答率は、熊本県、全国を上回る。

理科：正答数は、熊本県、全国と同程度。



思いやりある行動で笑顔に 中学1年生 奥野 桜良さん 2025.9.26 熊日新聞

僕は障がい者の方と身近に会うことがあります。お父さん、お母さんは障がい者の方と関わる仕事をしています。そんな中、施設へ入所している利用者の方への虐待がニュースで取り上げられました。虐待はなぜ生まれたのか、どうすればなくなるのかを考えた時に、一人一人が障がい者の方を理解し、接し方を考えなければいけないと思いました。僕は小学生の時コンビニで車いすに乗った障がい者の方を見かけました。その人は自力でコンビニまで来ていたようなので、何でも自分でできる人なのだろうと思い、最初は見て見ぬふりをしていました。でも、その人は買いたい物を棚から取れない様子でした。僕はとても緊張しましたが、その人に近づいて「大丈夫ですか？」と声をかけました。その人は「そこの物を取ってほしい」と言われました。僕はすぐに取ってあげました。その後、僕は他に取ってほしい物はないのかも聞きました。最初は緊張したけれど、少し会話をした後は笑顔で話せるようになりました。帰る時に「ありがとう」と笑顔で言ってもらえました。本当にうれしくて、やってよかった、人の役に立てて良かったと幸せな気持ちになりました。

小さな出来事だったけれど、僕にとっては大きな経験になりました。一人一人が思いやりのある行動ができて、障がい者の方と笑顔で過ごせる、そんな社会になってほしいと願っています。



